

保小中つながる教育センター通信 VOL. 3

発行：令和5年8月17日 西川町教育委員会

令和5年度 学校教育センター全員研修会

今年度も山形大学の三浦登志一先生をお招きし、「保小中一貫教育における学力向上の方策」～家庭学習と連動した学習活動・単元づくりの在り方～のテーマでご講演をいただきました。昨年度までの全国学習状況調査で西川町の大きな課題として、家庭学習の時間が短いという現状から依頼したテーマでした。

本来、家庭学習は児童生徒や保護者に任せるべきものだという考えも一理あると思います。しかし、メディアの急速な発達で、私達が育ってきた環境とは大きく違っていることに対応することも必要な状況です。

そもそも、子どもは知的好奇心の塊のようなものです。物心つく頃には、「これは、なに？」「なぜ、そうなるの？」と見たり、聞いたり、触ったりしたがる行動は、生きる力を獲得していくための本能なのだと思います。私達が多くの時間を費やす授業は、そのような子ども達の知的好奇心をくすぐるものになっているのでしょうか。「授業でやったことをもっと調べてみたい、やってみたい、生活の中に活かしたい。」があれば、学習する場所は学校も家庭も関係ないというのが、目指す学びの姿ではないかと思います。デジタル機器を使えば、以前よりずっとそのハードルが低くなっていると思います。

今回の三浦先生のご講演では、児童生徒の家庭での時間の使い方の現状や学校の授業と家庭学習を連動させるためのヒントをわかりやすく教えていただきました。これまで取り組んできたものを、見方を変えることで活かす方法をぜひ、2学期からチャレンジいただければと思います。

< 先生方の振り返りから >

- ・具体的で大変わかりやすいお話でした。実践事例があれば聴いてみたいです。
- ・子ども達を見守ることの大切さ、大人の声は少なくてもいい、園でももっと意識する所だと思いました。大人のかかわり方(与え方)を聞くことができて良かったです。ありがとうございました。
- ・SNS やゲームは、テレビ番組と違って時間的制限がかけにくいことや、依存しやすい作りになっていることから長時間使用になりやすい環境になっていると改めて感じた。一方で、その時間を学習に繋げる時間にすることもできるということがわかった。授業の振り返りをやって来てもらうことを早速実践してみたい。また、メディアコントロールを行なっているが、小さい頃からの環境もあり、なかなか改善していない。親や家庭をいかに巻き込むかが大切だと思った。
- ・家庭学習のこと、読書の大切さ、とても納得です。
- ・今までも「じゃあ、この部分を考えてきてね。」と次の授業につながる課題を家庭学習に位置付けた(提示した)こともあったのですが、なかなか家でやってこなくて、授業前にパパッと調べたことを発表したりなどがありました。なので、それを家庭でできるように、根気強くやっ



ていくことが大切だと思いました。

- ・西川で作成している「家庭学習の手引き」に本日学んだ家庭学習のねらいをもりこみ、学校、家庭共通認識のもとですすめられるといいと思いました。評価の視点として時間と内容と方法で、経年変化をみとるといいかなと思いました。
- ・目新しいことではなく、これまでやってきたことの視点を変えたり、順序を工夫したりなど、普通の授業で実践できそうな事例を紹介していただき、大変参考になりました。「振り返り」については考えさせられました。
- ・学力向上を考えると、私たち教師集団がどれだけ真剣に「学力」と向き合っているかが全ての土台になるという話にハッとさせられた。家庭学習についても同様であり、学校全体としても課題であることはわかっていながら、ねらいや家庭学習だから生きる取り組みについて考えたことはなかったと思いました。子どもが家でも取り組む必要感のあるものを授業の中でも取り入れていく必要があると思った。
- ・読書の話がとても興味深かったです。また「継続する学習」のひとつとしてドリルも大切だということを再認識しました。流行り廃りではなくいつの時代も大事にしなければならないことがあると改めて感じました。

< 第 3 回部会 >



生活と育ちをつなぐ部会

家庭学習の手引きを見直していただいています。町のHPに掲載し、必要なものをダウンロードできるようにデジタル化を図ります。また、気になる児童生徒の情報交換も行い、保小中の連携を深める場になっています。

< 次年度の研修希望 >

- ・家庭学習と連動した学習活動の実践例を知る。
- ・保小中一貫教育について
- ・探究的な授業について
- ・タブレットを活用した個別最適な学習の事例



授業を改善し学びをつなぐ部会

お互いの授業参観による指導力の向上に取り組んでいます。資質能力系統表のブラッシュアップも行っていますので、授業での活用をお願いします。



西川らしい教育をつなぐ部会

月山朝日観光協会高橋諒さんより、温泉ガストロノミー事業の説明とそこから得られた学びについて、講話いただきました。秋の温泉ガストロノミーに参加してみたいという先生方の感想がありました。